

十一面觀世音立像體高一米五七なるがあつて、奈良時代末期乃至平安初期の作と認められ、又絹本着色不動明王畫像堅九八種・横三八種のは、室町時代の作と認められる。

ヤクオウジ 薬王寺 石川郡三小牛に在つて、天台宗に屬し、小島山と號する。文祿元年開基見齋法印之を金澤堅町に創立したが、萬治元年藩の用地となつて蛤坂に移り、明治三十五年更に今の所に轉じた。

ヤクガカリ 役懸 諸士にして藩の政務に關する職を有する者をいひ、單に城内に交番宿衛する如き無役のものに對する名稱である。

ヤクギゴメン 役儀御免 藩政の時、士人にして役儀に關する失錯をなしたものは、役儀御免の處分を與へられたことがある。この場合には役料知を沒收せられるが、知行には及ばなかつた。

ヤクギン 役銀 御普請役とも御普請銀ともいふ。藩士が藩の普請に助力する爲に提供する銀子である。萬治三年六月朔日の令に、『御家中普請役年中可爲三步事。』と定められて、知行百石の士は一年三百五十四日と平均して、その三分の一に對し、一日一人を銀七分に積り、七十四匁三分四厘を出す義務を負ふのであつた。但し士分では百十石未満の者、與力では五十石未満の者には之を除かれた。閏月のある年はその日數の分だけ加算する。千石以上の士では普請役三分の二を銀役とし、三分の一を人役とするが、その人役に對しては一日一人銀一分五厘八毛一味六拂宛の小用銀を加算した。年分の懸銀の三の一を春打として四月に、三の二を秋打として十二月

中に上納するを要する。(後には七月と十月。)その他特に職務のあるものは、役銀の一部又は全部を減せられた。因にいふ。國事雜抄所載寛文元年正月十八日附御普請奉行の觸に、『御普請役、去年より四歩之内一歩人役三歩銀役に相究申候。』とあるが、その意味は解し難い。去年は萬治三年で三歩役に定まつたのであり、後世も亦常に三歩役であるからである。尙後考を俟つ。

ヤクギン 役銀 藩政の時、金澤の本町が負擔する役銀は、傳馬役銀・本町木戸等普請入用・上使宿普請料・横目肝煎傳馬肝煎等扶持銀・町會所牢番人扶持米等諸種の費用を含み、觀音院神事能の費用もこの中から支出せられた。役銀を賦課するには小間役・役間役・面割役の三方法があつた。小間役は、町によつて等級を異にするが、家屋の前口に比例するものであり、役間役は同町内でも戸毎に十免・六・五分免等の割合を立て、前口に比例するものであり、面割役は家の貧富大小に拘らず同額を徵するもので、その費用の種類によつて、賦課の方法を異にした。

ヤクギンブギョウ 役銀奉行 藩の諸士より徵する御普請銀取扱の主任である。役銀奉行の初は詳かでないが、萬治二年の頃佐坂九右衛門・小幡七郎兵衛・中村平右衛門が勤め、後延寶四年に加藤與一郎、天和二年に奥田治左衛門が命ぜられ、元祿以降は二人役となつた。

ヤクシ 薬師 河北郡井上庄に屬する部落。龜尾記に、昔眞言宗眞覺寺があつて、境内に薬師堂が存したから邑名を得た。今お花島・金堂・大門・寺屋敷等の名を遺してゐるとい

ひ、又漸得雜記には、七里三河がこの村に居住してゐたと記されてゐる。
ヤクシインヤクシ 薬師院薬師 ↓シヨウウガクイン 正覺院。
ヤクシガハ 薬師川 鳳至郡神目附近に源を發し、藤波小字邊田、濱の薬師堂附近に於いて海に注ぐ。流程四軒許。
ヤクシジ 薬師寺 石川郡に在つた。實隆公記文明十七年四月八日の條に、『及晩和長來。加州小原縣薬師寺勸進帳草持來之相談。尤殊勝珍重々々。』と見える。和長は菅原和長である。又大谷一流系圖に、蓮如の曾孫公誓のことを、『薬師寺公藝資。賀州石河郡鰐村内小原村。天正八年四月廿六日卒廿六歳。』ともある。この小原は鰐村内とあるから、河内庄に屬するもので、後の石切小原であらう。
ヤクシジ 薬師寺 珠洲郡布浦に在つて、眞言宗に屬する。能登名跡志に、『薬師堂あり。昔は松波常陸介祈願所にて、醫王山薬師寺というて密宗也。今は小庵也。本尊薬師如来は、見佛上人佛の洞にのこし置給ふ靈佛にて、御長一尺のえんぶだごんの三枝の蓮花薬師、左は日光佛、右は月光佛立給へり。靈驗奇特多き尊像也。』と見える。この薬師は臺共三一種の金銅佛で、脇持は本尊臺座の兩脇から生じた蓮華に安置せられ、光背を失うて居り、北魏式の渡來佛と認められて、重要美術品に指定せられてゐる。能登十二薬師中の九里薬師といはれたのはこれである。
ヤクシドウ 薬師堂 石川郡戸板郷に屬する部落。寶永誌に、この村領に信濃殿島があり、神谷信濃が居住したと記する。
ヤクシブツ 薬師佛 能登で十二薬師とい

はれたのは、和倉村湯の薬師、甲村甲山薬師、鶴川村櫻木薬師、石井村米山薬師、中島村熊木薬師、南山村白龍薬師、布浦村九里薬師、大野村高洲薬師、中居村奥津薬師、大川村濱田薬師、若山村宗末薬師、富木村高爪薬師であつた。又別に作佛の薬師尊といはれるものがあつて、それには一宮薬師院薬師、上村笠主薬師、所口豆腐町薬師、穴水大町薬師、穴水川島薬師、藤波灘濱薬師、柳田法華寺薬師、輪島濱薬師、輪島常田薬師、廣國あんの薬師、木郎瀧泉寺薬師、木郎不動寺薬師、木郎願成寺薬師、鶴岡金峰寺薬師、正院館の薬師、粟津十二薬師、眞浦濱上薬師が數へられてゐる。
ヤクシマツリ 薬師祭 ↓シンノウマツリ 神農祭。
ヤクシヤマ 薬師山 白山の尾添口岩間温泉からの登路中、湯谷と中川との脊梁を進むときは、標高二〇二二米の頂に達する。薬師山といふものは是である。
ヤクジユツカイ 約術解 一册。近藤兵作信行の著した算書で、自約・逐約・遍約等の諸約術を解したものである。
ヤクシユツギン 役出銀 藩士の藩に納入すべき役銀と出銀との意。↓ヤクギン 役銀。シユツギン 出銀。
ヤクシヨハジメ 役所初 藩政の時、正月四日を役所初又は御用初というた。頭役以下一同諸役所に出動して、互に賀辭を述べ、やがて歸宅し、その實際事務を執るのは十六日からであつた。
ヤクソウエガタチヨウ 薬草繪形帳 一册。表題に『享保七年御醫師様方薬草繪形に被仰